

日建・レンタコムカップ

第31回全日本学生女子ヨット選手権大会

レース公示

大会期間：2023年9月22日(金)～9月25日(月)

開催地：神奈川県三浦郡葉山町葉山港沖

共同主催：全日本学生ヨット連盟 関東学生ヨット連盟

公認：公益財団法人 日本セーリング連盟 (2023-12)

特別協賛：日建・レンタコムグループ

日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社 日建片桐リース株式会社

協賛：明治商工株式会社 株式会社伊藤園

後援：神奈川県セーリング連盟 (23-16) 日本470協会 一般社団法人日本スナイプ協会
葉山町 葉山町教育委員会 葉山町セーリング協会

株式会社葉山マリーナ 株式会社ノースセール・ジャパン 株式会社舵社

協力：湘南サニーサイドマリーナ株式会社 株式会社リビエラリゾート ヒロリギング

略語

- [DP] その規則の違反に対するペナルティをプロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができることを意味する。
- [NP] その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a)を変更している。
- [SP] レース委員会またはテクニカル委員会が審問なしに標準ペナルティを適用することができる規則を意味する。これは RRS 63.1 及び RRS A5.1 を変更している。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティが決定される。

1 規則

- 1.1 本レガッタには、「セーリング競技規則 2021-2024」(以下、RRS)に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P の「セール番号」を「エントリーナンバー」に置き換えて適用する。これは RRSP1.2 を変更している。
- 1.3 付則 T を適用する。
- 1.4 SCIRA クラス規則の「国内及び国際選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き、適用されない。
- 1.5 [DP] 両クラスとも直径 8mm 以上で長さ 10m 以上 (スナイプ級はクラス規則により長さ 15m 以上) の水に浮くもやいロープ (もやいロープの一端は艇又はマストに結着すること)、470 クラスは全長 60cm 以上で 10cm×25cm 以上のブレード部分のあるパドルを搭載しなければならない。パドルの搭載については、国際 470 級クラス規則 C5 を変更している。
- 1.6 以上の規則には、帆走指示書によって変更されている箇所がある。変更の全文は帆走指示書に明記される。
- 1.7 レース公示と帆走指示書が矛盾する場合、帆走指示書を優先する。これは RRS 63.7 を変更している。

2 [DP] [NP] 大会を管理する文書

『全日本学生ヨット連盟規約』、『470 級学連申し合わせ事項』、『スナイプ級学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』、『艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項』を適用する。これらは全日本学生ヨット連盟ホームページにて公開されている。
(<https://www.zennihon201809.com/>)

3 コミュニケーション

3.1 競技者への通告には以下の手段を用いる。

- (1) 公式掲示板は、オンライン掲示板 RacingRulesOfSailing.org を使用し、帆走指示書の変更などの各種通告や大会文書の入手、審問予定、判決結果など審問に関わる通告に使用する。
- (2) LINE オープンチャットは、各種 Google Form の入手先やブリーフィング、調停呼び出し、暫定成績などその他会場アナウンスの用途などに使用する。

3.2 [DP] [NP] レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

4 競技種目

国際 470 級、国際スナイプ級

5 参加資格及び参加申込み

5.1 参加資格

- (1) 競技者は、以下の事項を満たしていなければならない。
 - ① 加盟大学（校）に学籍があり、入学してから 4 年以内の女子で、本大会エントリー表に登録済みであること。
 - ② 各クラス協会の 2023 年度会員登録を済ませていること。
 - ③ 2023 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
 - ④ スポーツ安全保険、または補償内容が同等以上の保険に加入していること。
- (2) 競技者が所属する大学の監督及びコーチは 2023 年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
- (3) 各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学のチームであること。
各水域の推薦枠は両クラスとも、各水域の予選エントリー数のパーセンテージにより与える。詳細については以下の通りとする。

予選エントリー数	推薦枠数
7 艇以下	全艇出場を可とする
8~14 艇以下	予選エントリー数の 80%を可とする
15・16 艇	12 艇を可とする
17 艇以上	予選エントリー数の 70%を可とする

小数点以下は切り上げる。

※但し、参加艇数が各クラス 35 艇に満たない場合は各水域の代表者の推薦により、大会会長の承認を得た上でエントリーを認める場合がある。

(4) 予選会の免除について

全日本学生ヨット連盟会長は、JSAF に指定された世界選手権大会に出場する選手及び、JSAF に指定されたトップアスリート選手の水域予選を免除することができる。

5.2 エントリー

エントリーは各艇ヘルムスマン 1 名、クルー 2 名以内とする。

5.3 参加申込み

- (1) 参加資格のあるチームは、申込期日までに以下の手続を完了させ、参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。参加申し込み時には、参加料の振込みの明細書のコピーもデータ化し、提出すること。
- (2) 【参加申込書フォーム】の該当する参加申込書を完成させ送信する。ただし参加申込書-1と2に関しては出場する艇ごとにフォームを提出すること。支援艇を使用する場合は、期日までに参加申込書-4を提出すること。

[参加申込書-1 470級艇/選手登録フォーム](#)

[参加申込書-2 スナイプ級艇/選手登録フォーム](#)

[参加申込書-3 予備艇登録フォーム](#)

[参加申込書-4 支援艇登録](#)

[参加申込書-5 一般事項登録フォーム](#)

[参加申込書-6 搬入搬出登録フォーム](#)

[参加申込書-7 レセプション関連希望調査](#)

[参加申込書-8 各種証明書提出フォーム](#)

[【別添】各種証明書フォーマット.xlsx](#)

- (3) 各種証明書は以下の規定に沿って提出すること。
 - ① 参加選手の2023年度(公財)日本セーリング連盟会員であることを確認できるもの(電子会員証の写し)
 - ② 監督、コーチの2023年度(公財)日本セーリング連盟会員であることを確認できるもの(電子会員証の写し)
 - ③ 国際470級はINTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENTFORM <Measurement Certificate & Measurement Form (以下MC/MF)>の原本を大会受付時に提出
ただし、2011年7月29日以前に登録された艇でMC/MFを所持していない艇は、計測登録証明書の原本の提出でも良い。
 - ④ 国際470級は登録したセール番号(予備セールの含む)が今大会に登録した艇の番号と異なる場合は、登録したセール番号と同じ番号の艇の上記③書類を大会受付時に提出すること。
 - ⑤ 国際スナイプ級は、計測証明書の写し
 - ⑥ 国際スナイプ級の競技者は、次のア～ウの項目に関して日本スナイプ協会各フリートキャプテンが発行する2023年SCIRA登録を証明できるものの写し
 - ア 国際スナイプ級にエントリーした競技者
 - イ 今大会に登録した艇
 - ウ 登録したセール番号(予備セールの含む)が今大会に登録した艇の番号と異なる場合は、登録したセール番号と同じ番号の艇のSCIRA登録が証明できるもの

(4) 【参加申込期日】

2023年7月20日(木)19時

但し以下については、下記の通りとする。

参加申込書-5/参加申込書-6 2023年8月17日(木)19時

- 5.4 参加申込期日までに参加申込フォーム-1・2・3・7の回答が完了していない場合は、2023年7月31日(月)19時までにフォームの回答と参加料を振り込んだ場合に限り、レイトエントリー扱いとして参加を認める。

6 参加料

- 6.1 1艇 20,000円（エントリー費とエントリーナンバー代、バース代、管理費を含む）
※レイトエントリーの場合 25,000円
- 6.2 振込先 銀行名 三菱UFJ銀行
店番号 345 渋谷中央支店
口座番号 0436460
名義 カントウガクセイヨツトレンメイ オオムラ タツヤ
※振込人は個人名ではなく必ず大学名でお願いします。
- 6.3 参加申込書と誓約書の提出及び参加料振込が各期日迄に完了していない場合はレイトエントリーとする。レイトエントリーとなった場合で参加料が不足している場合は不足分を追加徴収する。
- 6.4 エントリー締め切り後の参加料返金には一切応じない。

7 艇、セール

7.1 使用艇

- (1) 国際470級及びスナイプ級ともに各大学、各クラス1艇の予備艇の登録を認める。
- (2) 国際470級は、「470級学連申し合わせ事項」を満たし、かつ2023年度団体登録が完了していること。国際スナイプ級は「スナイプ級学連申し合わせ事項」を満たし、かつ2023年度SCIRA登録が完了していること。尚、両クラスとも事前に各水域において本大会の大会計測を完了しておかなければならない。
- (3) 艇は原則、参加チームの所有艇とするが、参加チームが手配したチャーター艇も認める。この場合も本大会の大会計測を完了した艇をチャーターすること。
- (4) 艇の交換は、破損による場合のみとし、最初の妥当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は「大会計測」を完了していなくてはならない。

7.2 セール

- (1) 国際470級及びスナイプ級とも1艇に1セットのセールの登録及び1セットの予備セールの登録を認める。
- (2) 国際470級のセール及び国際スナイプ級のセールは各クラス協会規則に準じた基本計測、完了していなければならない。
- (3) [DP] [NP] 同一のセール番号を複数の艇で登録してはならない（予備セールを含む）。国際470級はクラス協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。国際スナイプ級は2023年度SCIRA登録済みの艇以外のセール番号を使用してはならない。
- (4) [NP] 国際470級のメイン・セールとスピナーカーのセール番号は同一でなければならない。
- (5) 予備セールの使用は、セールの破損による場合のみとし、最初の妥当な機会にテクニカル委員会の承認を得なければならない。
- (6) [DP] [NP] レースに使用するセールにはレース委員会が指定したエントリーナンバーを【添付図A】に示す位置に表示しなければならない。これはRRS77及び付則Gを変更している。
- (7) 競技者は、主催団体によって提供されたトラッキングシステムをその使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく実施しなければならない。

8 日程

8.1 レース日程

9月22日（金）	10:00～15:00	搬入、受付、計測
	17:00～17:30	艇長会議（オンライン上で行う）
9月23日（土）	9:00～9:30	開会式
	10:55	国際470級予告信号
	引き続き	国際スナイプ級予告信号
9月24日（日）	10:25	国際470級予告信号
	引き続き	国際スナイプ級予告信号

9月25日（月）	10:25	国際470級予告信号
	引き続き	国際スナイプ級予告信号
	17:00	表彰式 レセプションパーティー (於：リビエラ逗子マリーナ)

23日(土)及び24日(日)は15:30より後に、25日(月)は11:30より後に予告信号は発しない。

8.2 レース数

本大会のレース数は各クラス最大8レースとする。1日に実施するレース数は最大4レースとする。

9 計測

9.1 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けることがある。

9.2 本大会の事前計測は、2023年8月14日（月）以降に実施されなければならない。

「大会計測証明書」発行後は、改造を行ってはならない。計測後に改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。大会会場では、テクニカル委員会が必要と判断した場合を除いて、計測は実施しない。

10 受付

10.1 参加チームは 各水域で実施した【第31回全日本学生女子ヨット選手権大会計測証明書】を大会受付時に 紙媒体で提出しなければならない。

10.2 国際470クラスはエントリー時に提出した、MC/MFまたは、計測登録証明書の原本を大会受付時に提示しなければならない。

11 帆走指示書

11.1 参加申し込みの完了確認後、8月19日(土)までに出場大学に送付する。

11.2 帆走指示書に対する質問は、8月30日(水)までにレース委員会(NoR19 問い合わせ先)宛てにメールで提出すること。

12 レース・エリア

【添付図 B】にレース・エリアを示す。このレース・エリアはレース委員会の裁量により変更されることがある。

13 コース

【添付図 C】のコース図は、レグ間のおおよその角度、マークを通過する順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

14 艇の得点

14.1 艇のシリーズ得点は、完了したレースが5レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これはRRSA2.1を変更している。

14.2 総合順位は、両クラスに各1艇以上参加した大学を対象とする。各大学で最も順位の良かった各両クラス1艇ずつのシリーズ得点を加算して総合得点とし、総合得点の少ない大学を上位とする。

14.3 2大学以上でタイとなった場合には、総合得点の対象となった両クラス1艇の得点を両クラスともすべて良い順に並べてRRSA8に準じてタイを解く。ただし、最後のレースの得点は両クラスの合計得点とする。

14.4 本大会は各クラス1レースを以って成立とする。

15 賞

- (1) 総合1位 全日本学生ヨット連盟会長盾（持ち回り）、賞状、総合優勝旗（持ち回り）、賞杯
2位・3位 賞状、賞杯
- (2) 各クラス1位 関山杯、優勝旗（持ち回り）、賞状、賞杯
2位・3位 賞状、賞杯
4～6位 賞状
- (3) 最優秀選手賞 関山恭子記念賞旗（持ち回り）

16 [DP] [NP] 支援者・支援艇

- 16.1 各大学登録できる支援艇は、参加クラス毎に1艇とし、参加申込み時に大会主催者が指定する「支援艇登録届フォーム」を提出しなければならない。
- 16.2 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ登録が認められる。
 - (1) 支援者艇は、主催者が指定するオープンチャットに参加をするとともに乗船する代表者の電話番号を登録しなければならない。
 - (2) 支援者艇は、常時オープンチャットが確認できる状態にしていると共に登録した代表者の電話に出られるようにしなければならない。
- 16.3 レース期間中、葉山港での係留または陸揚保管を希望する支援艇は、事前に大会主催者に申請し、許可された支援艇のみとする。（他の支援艇は大会葉山港以外のマリーナ等での係留場所を確保しなければならない。）
- 16.4 上記以外の支援艇は、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に葉山港に入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて出艇届の提出を行い、使用料を支払わなければならない。その上で乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。但しレース艇の陸置料は参加料に含むものとする。

17 リスク・ステートメント

- 17.1 RRS3には「レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。」とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 17.2 本大会への参加者は、すべて自己の責任において参加するものとする。RRS3 参照。本大会の主催者等は、大会期間中及びその前後に発生したいかなる物的損害及び人的傷害、死亡等について、責任を負わないものとする。

18 大会期間中の肖像権及び個人情報の公開

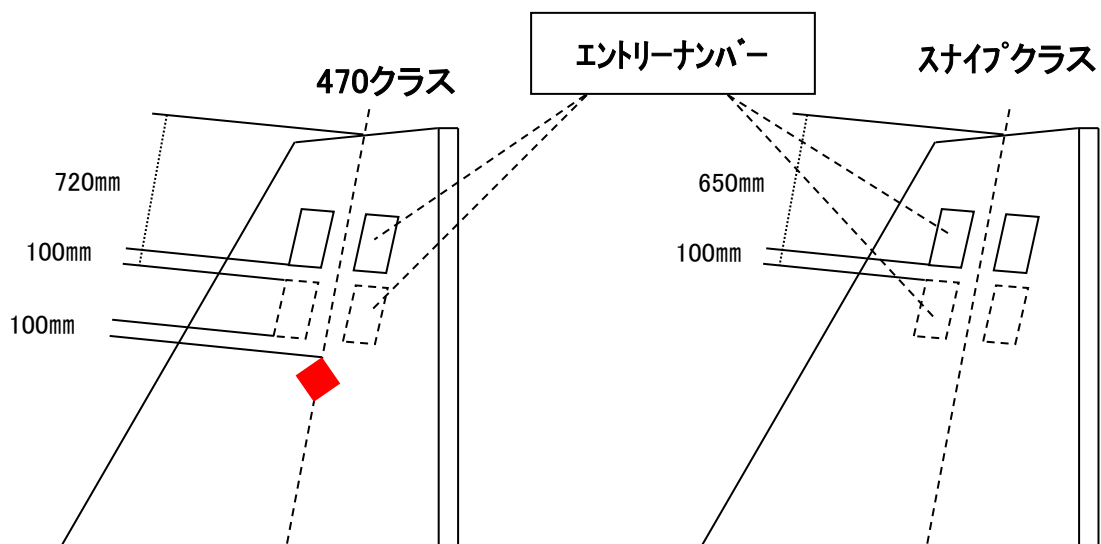
大会期間中の艇、競技者、支援者に関する写真、動画等のすべての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。参加申し込みにあたり提出された個人情報は、本大会の情報発信をするメディアを除き、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。大会情報の発信のため、名前、所属、セール番号、学年、写真、動画が含まれる内容の記事や「エントリーリスト」「成績表」などについて、関係団体も含め、ホームページやSNSに掲載されることがある。

19 問い合わせ先

全日本学生ヨット連盟 女子委員長：山本 百香

E-mail：all.japan.woman.yacht@gmail.com

【添付図 A】 セールへのエントリーナンバーの表示



- ・エントリーナンバーはスターボード側が上になるように貼ること。
- ・一桁の場合は、左右に寄せず中央に貼ること。
- ・スターボード側とポート側が重ならないようにすること。
- ・クラスを示す印と重ならないようにすること。このための若干の誤差は認める。
- ・国際 470 級は、赤色ひし形マークを付けること。

【添付図 B】 レース・エリア



【添付図 C】 コース図

